

# 事業概要

第4号

平成13年度

富山県中央植物園



# 目 次

<b>I 庶務</b>		<b>IV 資料収集事業</b>	
1. 沿革	1	1. 標本資料	14
2. 整備概要	1	2. 文献資料	14
3. 利用案内	2	<b>V 調査研究事業</b>	
4. 組織	3	1. 研究体制	15
5. 招聘客員研究員	4	2. 研究課題	15
6. 講師等派遣	4	3. 昆明植物研究所との 共同研究	15
7. 委員等	4	4. 研究報告7号の発行	15
8. 研修生	5	5. 平成13年度研究発表	16
9. 視察研修等	5	6. 論文・学会等発表	16
10. 行政バス	6		
<b>II 植物管理事業</b>		<b>VI 参考資料</b>	
1. 収集植物現況	7	1. 施設概要	17
2. 新規導入植物	8	2. 施設平面図	18
3. 分譲植物	9	3. 整備事業費	19
<b>III 教育普及事業</b>		4. 利用統計	20
1. 催事記録	10	5. 例規	22
2. 印刷・出版	12	6. シンボルマークと愛称	24
3. 新聞・雑誌への寄稿	13		
4. 取材対応	13		
5. リファレンス状況	13		
6. 新聞記事	13		

# I 庶務

## 1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園(展示温室公開)
平成 8年 5月	中国雲南省昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年 2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国雲南省昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年 4月	開園後の入園者50万人達成

## 2. 整備概要

(1) 所在地 富山県婦負郡婦中町上轡田42

(2) 敷地面積 24.7 ha

(3) 主要施設

① 管理研修棟	1棟	2,090㎡
② 展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,831㎡
③ 栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟	1,076㎡
④ サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,456㎡

(4) 展示植物 約5,500種類、95,800本(株)

- ・屋外展示園 約1,800種類
- ・展示温室内 約1,200種類
- ・栽培温室・圃場 約2,500種類

(5) 事業費 約92億円 財源: 地域総合整備事業債(ふるさとづくり事業)

(6) 整備期間 平成元年度～平成7年度

### 3. 利用案内（平成15年2月1日現在）

- (1) 開園時間 午前9時～午後5時（入園は午後4時30分まで）  
 冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで
- (2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)、および12月28日～1月4日
- (3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	600円	480円
小人(小・中学生)	300円	240円

●減免基準(全額免除) 平成5年9月制定、平成14年3月28日改正

- ① 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校の児童又は生徒が、日曜日、土曜日または祝日に入園するとき。
- ② 児童・生徒、引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ③ 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ④ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。

#### (4) 交通機関

●バス利用

- ・富山地鉄バス  
 JR富山駅(12番乗場)発  
 ファボーレ経由萩の島行き  
 中央植物園口停留所下車、  
 徒歩約8分

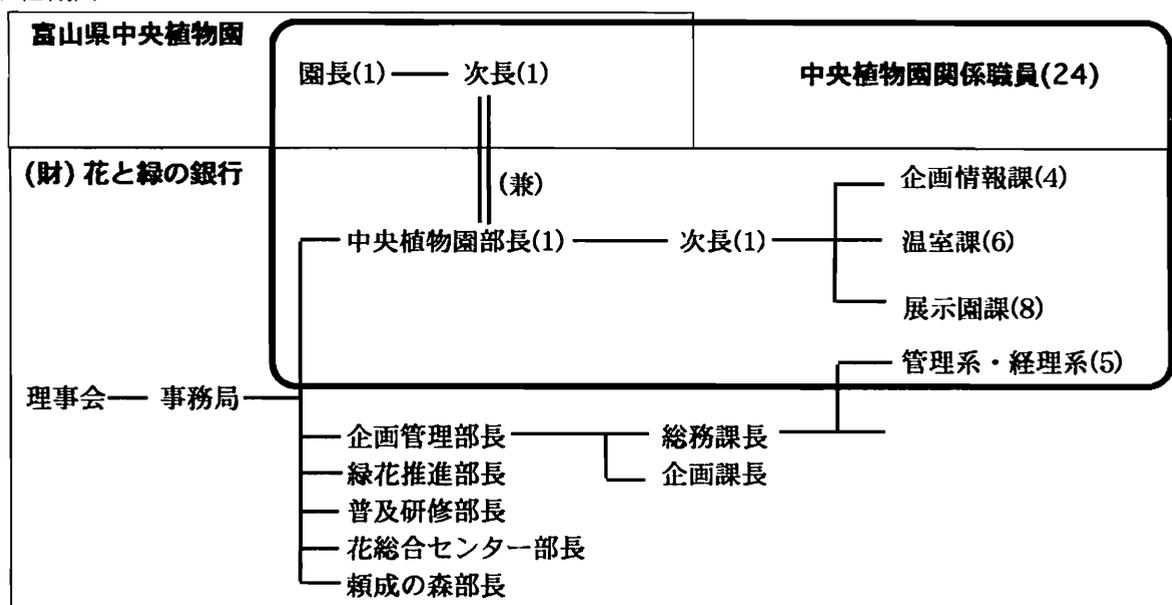
●自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより  
 婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分



4. 組織 (平成13年4月1日現在)

(1) 組織図



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	黒川 信一
次長	祖 鶴 川 信 一

(財) 花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	祖 鶴 川 信 一	県中央植物園次長 県出向職員(主幹)
次長 (展示園課長兼務)	中 橋 田 政 司 松 屋 井 伸 誠 高 井 橋 一 彦 臣	県出向職員(副主幹研究員) 県出向職員(主任)
企画情報課 課主 主 枝	長 任 任 師 中 橋 田 政 司 松 屋 井 伸 誠 高 井 橋 一 彦 臣	県出向職員(主任研究員)
温室課 主 任 研 究 員 主 任 研 究 員 技 師 師 師 師 技 術 員 員 員 員	神 戸 敏 成 吉 田 め く 兼 本 隆 正 大 栗 原 信 明 夫	県出向職員(主任研究員)
展示園課 主 任 研 究 員 主 任 研 究 員 技 術 技 術 技 術 業 務 業 務 業 務 嘱 託 嘱 託 嘱 託	大 山 宮 下 徹 志 内 之 明 桐 林 寿 利 浩 浅 野 二 豊 有 澤 弘 秀 桐 林 秀 宣 雄	県出向職員(主任研究員) 県出向職員(主任研究員)

(財) 花と緑の銀行 企画管理部(一部)

総務課 (一部)	専 門 員 主 嘱 嘱 嘱 嘱 託 託 託	郷 田 義 博 恒 川 利 一 高 井 芳 美 坂 井 き よ 内 山 朋 子
-------------	-----------------------------	---

5. 平成13年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
川 窪 伸 光	岐阜大学農学部助教授	花生態学	平成13. 7.10~7.11
中 西 弘 樹	長崎大学教育学部教授	種子散布の生態学	平成13.9.19~9.20
堀 田 満	鹿児島大学名誉教授	有用植物とその保全	平成13.11.20~11.21

6. 平成13年度講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
13. 7. 29	橋屋 誠	きのこ部会野外観察会	富山県中央植物園友の会
13. 8. 26	大宮 徹・ 吉田めぐみ・ 高橋 一臣	立山室堂平における植物野外観察	富山県中央植物園友の会
13. 9. 7	桐林 浩二	保育所における植物の管理	富山市福祉保健部子供福祉課
13. 9. 16	橋屋 誠	きのこ部会野外観察会	富山県中央植物園友の会
13. 9. 30	山下 寿之	ナチュラリスト研修会	とやま環境財団
13. 9. 30	橋屋 誠	秋の有峰キノコづくし!パート1	富山県有峰青少年の家
13. 10. 6	橋屋 誠	きのこ部会野外観察会	富山県中央植物園友の会
13. 10. 14	橋屋 誠	自然観察会講師	富山県自然博物館「ねいの里」
13. 10. 16	中田 政司	ビオトープで育てる水生植物	富山市立八人町小学校
13. 10. 20	黒川 道	研究施設としての植物園の役割	造園学会関西支部
13. 10. 20	中田 政司・ 神戸 敏成	植物園観察会	富山県中央植物園友の会
14. 1. 19	神戸 敏成	雲南省のベゴニア	日本ベゴニア協会
14. 2. 8	中田 政司	中国雲南省からの植物導入と昆明植物研究所との共同研究	独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園
14. 2. 23	橋屋 誠	講演会「きのこの魅力」	石川きのこ会
14. 2. 23	神戸 敏成	富山県中央植物園における植物保全	植物バイテク研究会

7. 平成13年度委員等

期間	氏名	内容	依頼者
平成13年度	黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
平成13年度	黒川 道	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成13年度	黒川 道	(財)服部植物研究所評議員	(財)服部植物研究所
平成13年度	中田 政司	植物地理・分類学会評議員・編集委員	植物地理・分類学会
平成13年度	中田 政司	(財)日本染色体学会評議員	(財)日本染色体学会
平成13.6.20 ~事業終了	中田 政司	富山市科学文化センター展示委員会委員	富山市教育委員会
平成13年度	中田 政司	富山県レッドデータブック作成委員	富山県生活環境部
平成13.9.14 ~14.3.31	山下 寿之	県指定天然記念物朝日社叢保存検討委員会委員	水見市教育委員会
平成13年度	山下 寿之	富山県レッドデータブック作成委員	富山県生活環境部
平成13年度	神戸 敏成	絶滅危惧植物対策委員会委員	(社)日本植物園協会
平成13年度	橋屋 誠	生態系多様性地域調査調査員	富山県生活環境部
平成13年度	大原 隆明	生態系多様性地域調査調査員	富山県生活環境部
平成13年度	大原 隆明	富山県レッドデータブック作成委員	富山県生活環境部
平成13年度	桐林 秀雄	富山県文化財保護指導員	富山県教育委員会

## 8. 平成13年度研修生等の受入

### (1) 平成13年度博物館実習生

氏名	所属	期間
石田 玲子	富山大学理学部生物圏環境科学科	平成13.8.2～8.11
山田 直矢	富山大学理学部地球科学科	平成13.8.2～8.11
石田香穂里	北里大学獣医畜産学部畜産土木工学科	平成13.8.20～8.31

### (2) 平成13年度中堅教員研修受講者(平成13. 8. 22～8. 24)

氏名	所属	氏名	所属
吉山 和憲	富山工業高等学校	川端 紀代美	三郷小学校
山本 紀美子	大門高等学校	山下 圭子	猪谷小学校
山下 裕市	しらとり養護学校	高島 英公子	下関小学校
金子 直樹	舟橋小学校	沼田 恭子	砺波北部小学校
亀井 佳代子	豊田小学校	五島 一郎	富山東部中学校

### (3) 平成13年度「社会に学ぶ14才の挑戦」受入

氏名	所属	期間
下川 一輝	富山市立堀川中学校	平成13.7.2～7.6
出戸 浩平	大沢野町立大沢野中学校	平成13.7.9～7.13

## 9. 平成13年度視察研修等受入

年月日	視察研修者	内容	人数
13. 4. 23	ロシア沿海地方との渡り鳥に関する共同調査にかかる研究者	園内視察	4
13. 5. 12	富山大学理学部生物学科新入生	新入生オリエンテーション研修	56
13. 5. 29	富山国際職藝学園新入生	校外工房実習のための視察研修	70
13. 7. 3	富山市立南部中学校PTA	施設見学(ミントとラベンダー企画展)	20
13. 7. 9	中国河北省秦皇島市農業研修生	視察研修	4
13. 7. 10	北東アジア地域自治体連合分科委員会	園内視察	8
13. 7. 18	愛媛県花き総合指導センター	植物園事業に関する調査	1
13. 7. 24	呉羽地区女性防火クラブ連絡協議会	施設見学	25
13. 7. 27	富山県庁OB会	施設見学	13
13. 7. 30	富山中部高校・中国遼寧省東北才育学校	施設見学	6
13. 8. 7	中国大連市農業視察団	園内視察	11
13. 8. 8	愛媛県総合科学博物館	企画展「植物と昆虫」調査	1
13. 9. 7	花のまちづくりコンクール審査員他	園内視察	2
13. 9. 29	フローランテ宮崎	ボランティアに関する調査	4
13. 10. 31	北東アジア21世紀女性会議参加パネリスト	園内視察	4
13. 10. 31	中国雲南省友好教会日本語学校卒業生訪日団	園内視察	7
13. 11. 4	中国遼寧省人民代表大会友好代表团	園内視察	16
13. 11. 6	北東アジア地域渡り鳥標識調査研修関係者	園内視察	6
13. 11. 7	都道府県選挙管理委員会連合会東海北陸支会	園内視察	12
13. 11. 12	石川県白峰村教育委員会事務局	園内視察	4
13. 11. 18	富山県職員研修所招聘講師	園内視察	2
13. 12. 7	東海北陸ブロック各県児童相談所職員	施設見学	20
13. 12. 21	ウラジオストク市身障児保護者団体	園内視察	20
14. 1. 26	中国遼寧省人民政府訪問団	園内視察	10
14. 2. 23	中国遼寧省農業技術研究者代表团	園内視察	5
合計			25団体 331名

10. 平成13年度行政バス

(1) 県政バス

年月日	内 容	人数
13. 5. 22	都市計画課・街の緑 里の緑	41
5. 23	林政課・花の名所めぐり 2台	81
5. 25	林政課・花の名所めぐり	41
5. 28	林政課・花の名所めぐり 2台	86
6. 8	林政課・花の名所めぐり 2台	82
6. 22	林政課・花の名所めぐり 2台	97
6. 27	都市計画課・街の緑 里の緑	41
6. 27	林政課・植物園めぐり	30
6. 29	林政課・花の名所めぐり	43
10. 22	都市計画課・街の緑 里の緑	32
10. 26	林政課・植物園めぐり	31
11. 5	林政課・花の名所めぐり 2台	88
11. 7	林政課・植物園めぐり	42
合計 のべ13回 18台 735名		

(2) 富山市民バス

年月日	内 容	人数
13. 6. 5	五番町公民館	30
6. 27	水橋中部校区	38
合計 2回 2台 68名		



## Ⅱ 植物管理事業

### 1. 収集植物現況(平成13年度末現在)

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
<b>展示温室</b>		<b>1,213</b>	<b>6,027</b>
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、ゾウタケ	450	1,529
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,162
熱帯果樹室	バナナ、パイナップル、パイナップル	310	1,294
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	130	917
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	125
<b>屋外展示園</b>		<b>1,788</b>	<b>59,164</b>
<b>世界の植物ゾーン</b>		<b>1,057</b>	<b>41,677</b>
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	96	5,481
ポタン・シャクヤク園	中国ポタン、西洋シャクヤク	131	1,776
香りの植物	キンモクセイ、ラベンダー、バラ	80	1,759
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ	37	820
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	50	3,174
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	73	5,066
サクラ・ウメ園	ウメ、モモ、リンゴ、カリン	125	2,993
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	29	1,261
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	133	435
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	65	13,159
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	78	531
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	66	1,355
温室周辺	ワシントンヤシモドキ、ヤタイヤシ	35	2,987
新着植物	ニガウリ、ウォーキングスティック	59	880
<b>日本の植物ゾーン</b>		<b>731</b>	<b>17,484</b>
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スダジイ、タブノキ	62	648
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	146	2,109
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	158	4,596
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クリンソウ	98	1,421
低地草原	オミナエシ、キキョウ	36	925
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	69	2,646
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	54	2,284
ロッケリー	フジアザミ、エッチュウミセバヤ	22	591
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	28	827
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	58	1,440
<b>管理区域</b>		<b>2,477</b>	<b>27,953</b>
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物	662	2,279
	琉球列島の植物、系統保存植物	約1,700	約8,140
駐車場、入口広場他	トチノキ、ベニバナトチノキ	115	17,769
<b>園全体</b>		<b>約5,478</b>	<b>約95,839</b>

## 2. 平成13年度新規導入植物

### (1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
13. 7. 21	田中 康博	ユッカ・エレファンティベス(青年の樹) 1株
14. 3. 21	越野 淳一	クレマチス 4種類4株
3. 28	越野 淳一	クレマチス 14種類14株
3. 31	越野 淳一	クレマチス 19種類19株

### (2) 植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
14. 3. 13	かごしま熱帯植物園	<i>Strophantus gratus</i> 、 <i>Zamiocalamus zamiifolia</i>
3. 22	咲くやこの花館	<i>Meconopsis horridula</i> 、 <i>M. betonicifolia</i> 、 <i>M. grandis</i> 、 <i>M. 'シェリープ・ドナルド'</i>

### (3) 種子交換による導入

年月日	植物園	導入植物
13.1.30	ベルリン-フンボルト大学植物園 (ドイツ)	<i>Anthyllis vulneraria</i> 他 19種
1.31	ヌシャテル大学植物園 (スイス)	<i>Hieracium pilosella</i> 他 7種
3.13	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	<i>Pinus mugo</i> 他 13種
3.13	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	<i>Lychnis x haageana</i> 他 8種
3.17	ブザンソン大学植物園 (フランス)	<i>Impatiens glandulifera</i> 他 14種
4. 7	ゲーテ大学植物園 (オランダ)	<i>Seseli libanotis</i> 他 49種
5. 4	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所 植物園 (ハンガリー)	<i>Leontodon autumnalis</i> 他 34種
5.21	フランス国立樹木園	<i>Liquidambar orientalis</i> 他 6種
6. 3	ターリン植物園 (エストニア)	<i>Lonicera artmannii</i> 他 19種
6. 6	ラトビア国立樹木園 (ラトビア)	<i>Abies veitchii</i> 他 7種
11.27	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	<i>Begonia cucullata</i> 他 42種

### (4) 自生地採取による導入植物

年月日	採集地	導入植物
平成13. 8	富山県利賀村	埋土種子(ヤマブドウ、オオバクロモジなど)

### (5) 購入植物

年月日	購入先	購入植物
13. 4. 5	大井仙樹園	キバナハス 5株
4. 10	大井仙樹園	百合椿 1株
4. 19	大井仙樹園	白花ベニヒモノキ2株
4. 28	大井仙樹園	絞りマツモトセンノウ他3種類3株
5. 18	大井仙樹園	中国アジサイ ビローサ 1株
5. 22	北山ナーセリー	白花ユウガオ
9. 17	大井仙樹園	アカネ、サフラン 663株
11. 27	アルペンガーデンやまくさ	ジンジベル・スペクタヒレ他3種類8株
14. 3. 21	大井仙樹園	ソバナ、グンナイフウロ、ナミキソウ他10種類69株

### 3. 平成13年度分譲植物(植物体の部分を含む)

#### (1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
13. 6. 30 10. 5 14. 3. 11	寺村 祐子 長谷川秀夫 仁田坂英二	カリヤス、マグワ他7種 セイヨウアカネ オニバス	各500g程度 果実若干 種子60個	染色研究用 研究用 研究用

#### (2) 植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
14. 3. 5 3. 5	箱根町立箱根湿生花園 京都府立植物園	クロバナヒキオコシ(種子) クロバナヒキオコシ、カワラケツメイ、センダイハギ、エゾヒナノウスツボ(種子)

#### (3) 種子交換による分譲(平成13年度カタログ)

年月日	配布先	配布種子
14. 8. 20	中央シベリア植物園(ロシア)	イワカガミ他2種
14. 8. 20	Mr. Stig Froberg, Fortum Oy(フィンランド)	サルナシ他9種
14. 8. 20	コメンスキー大学植物園(スロバキア)	ミヤマカワラハンノキ他8種
14. 8. 20	ターリン植物園(エストニア)	ウリハダカエデ他3種
14. 8. 20	リヨン植物園(フランス)	オオカメノキ他7種
14. 8. 20	ラトビア国立樹木園	マルバゴマキ他10種
14. 8. 20	ロシア科学アカデミー極東支部植物園(ロシア)	オオバギボウシ他4種
14. 8. 20	ラトビア大学植物園(ラトビア)	コマツナギ他5種
14. 8. 20	Institute Botanique de la Graronne(フランス)	オオカニコウモリ他10種
14. 8. 20	ボゴール植物園(インドネシア)	イロハカエデ他4種
14. 8. 20	Ing. Carlos Erallo(アルゼンチン)	クロバナヒキオコシ他5種
14. 8. 20	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学研究所植物園(ハンガリー)	ヒメヤシャブシ他15種
14. 8. 20	ロシア科学アカデミーヤクーツク支部植物園(ロシア)	マルバマンサク他5種

### Ⅲ 教育普及事業

#### 1. 平成13年度催事記録

##### (1) 特別開園

催事名称	開催日	開催時間	開催場所	参加者数
夜間開園「夜桜観賞」	4/14(土)・15(日)	18:00~21:00	屋外展示園	1,304
夜間開園「夜の温室植物」	8/12(土)・13(日)	9:00~16:00	展示温室	592

##### (2) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00~17:00（11月~1月は16:30まで）

催事名称	期 間	内 容
デジタル植物標本写真 「スキャノグラフィー の世界」	4/13(金)~5/9(水)	スキャナーで植物体の画像を取り込み、パソコンで加工した写真の展示
特別展「野生ラン展」	5/11(金)~5/13(日)	富山県蘭協会との共催による野生ランの展示
「植物写真教室 講習作品展」	5/18(金)~6/6(水)	講習会で撮影された写真作品の展示
企画展 「ミントとラベンダー」	6/29(金)~7/18(水)	香料植物として有名なミントとラベンダーの実物と香料製品を展示
特別展「植物と昆虫」	7/20(金)~8/15(水)	食べたり食べられたり、助け合ったりしている植物と昆虫との関係を実物や写真で紹介
写真展 「スイスアルプスの 高山植物」	8/17(金)~9/12(水)	植物研究者佐藤卓氏撮影のスイスアルプスの高山植物の写真を展示
ミニ展示 「森の妖精 きのこ」	10/5(金)~10/7(水)	いろいろな姿や色合いをした不思議なきのこを紹介
企画展「植物画展」	10/26(金)~11/7(水)	フェアリーリングの会有志の作品を展示
企画展 「私の植物写真展」	11/9(金)~12/12(水)	一般から募集した植物写真を展示
企画展 「千支にちなんだ植物」	12/14(金)~1/16(水)	千支、巳(ヘビ)と午(ウマ)に因む植物の実物と写真などを展示
企画展「私の植物画展」	2/13(金)~2/27(水)	一般から募集した植物画を展示
平成13年度研究展 「植物園を支える研究活動(6)」	3/1(金)~3/27(水)	職員が行っている研究活動を紹介

## (3) 講座・講習・講演会

催事名称	講師	開催日	開催場所	参加者
植物写真の撮影法 「やさしい花の撮り方教室」	前佛 勇 (富山県写真家協会参与)	5/6(日)	研修室 園内	66
講演会 「エビネとその仲間」	石田源次郎 (広島市植物公園栽培課長)	5/13(日)	研修室	48
県民カレッジ連携講座 第15回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	5/19(土) ・20(日)	研修室	44
和紙を作ってみよう	東 秀幸・上口恵子 (平村和紙工芸研究館)	5/25(金)～ 27(日)	サンライトホール	110
県民カレッジ連携講座 「初めての植物染め」	寺村祐子 (前 女子美術大学教授)	6/9(日)	実習室	21
植物学講座 「植物の色素を調べる」	岩科 司 (筑波実験植物園主任研究員)	6/17(日)	実習室	22
講演会 「ハーブを探る」	小西達夫 (筑波実験植物園園長)	7/8(日)	研修室	40
親子植物観察記録会 デジカメで花を撮ろう	富山県情報工房職員	7/29(日)	研修室 園内	32
小学生植物ふしぎ教室	職員	7/30(月) ～8/1(水)	実習室 園内	23
電子顕微鏡で植物を観察しよう	職員	8/19(日)	研修室	8
スライド講演会 「スイスアルプスの高山植物」	佐藤 卓(植物研究家)	9/2(日)	研修室	62
どんぐりで遊ぼう	職員	10/21(日)	研修室	32
県民カレッジ連携講座 第15回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	10/27(土) ・28(日)	研修室	40
県民カレッジ連携講座 「ムラサキで染める」	足立紀美子 (女子美術大学講師)	11/3(日)	実習室	19
第8回TOYAMA植物フォーラム 「地方植物誌の課題」	黒崎史平 (頤栄短期大学教授) 清水建美 (信州大学・金沢大学名誉教授) 勝山輝男 (神奈川県立生命の星・地球博物館)	11/18(日)	研修室	50
ドリアンを食べてみよう	職員	11/25(日)	実習室	24
親子植物観察記録会 デジカメで花を撮ろう	富山県情報工房職員	2/10(日)	研修室 園内	28
平成13年度研究発表 植物園を支える研究活動 (6)	職員	3/17(日)	研修室	40

(4) 日中共同研究開始記念シンポジウム

「野生植物の保全と植物園の役割」

平成13年12月18日(火) 14:00~16:30

基調講演 管 開雲(中国科学院昆明植物研究所昆明植物園園長)

調査報告 神戸敏成(富山県中央植物園主任研究員)

魯 元学(中国科学院昆明植物研究所助理研究員)

パネルディスカッション 座長 黒川 道(富山県中央植物園園長)

参加者数 70名

(5) 月例行事

●植物園オリエンテーリング(7回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策(開催時間:10:30~12:30)

開催日:毎月第3日曜日

参加者数 約102名

(これ以外に5団体がオリエンテーリングを実施、611名が参加)

●日曜植物案内(12回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員が解説(開催時間:11:00~12:00)

開催日:毎月第1日曜日

参加者数 約220名

2. 平成13年度印刷・出版

(1) 「植物園だより」の発行

●2001年4・5・6月号(通巻19号)

表紙-シャクヤクの園芸品種/特集-昆明植物研究所との共同研究がスタート/活動報告-電子顕微鏡で植物を観察しよう、植物染め講習会ほか/話題の植物-ロドデンドロン・ヴェイチアナム、中国のボタンとシャクヤク/研究紹介-富山県のキノコ-友の会きのご部会結成に向けて-(主任 橋屋 誠)/植物学解説シリーズ 植物バイオテクノロジー(4) 裸の細胞"プロトプラスト"/これからが見ごろ植物-ヒスイカズラ、ヒトツバタゴ、バラ/イベント案内

●2001年7・8・9月号(通巻20号)

表紙-カライトソウ/特集-世界の高山植物-/活動報告-特別展「スキャノグラフィーの世界」、第22回野生ラン展、講演会「エビネとその仲間」(石田源次郎先生)/話題の植物-アメリカカクサノボタン、ゴーヤー(ニガウリ)/研究紹介-立山室堂平におけるライチョウの棲息地の植生(技師 吉田めぐみ)/植物学解説シリーズ 植物バイオテクノロジー(5) ポマトを作った細胞融合/これからが見ごろの植物-レンブ、オニバス、キスゲ/イベント案内

●2001年10・11・12月号(通巻21号)

表紙-センダンの果実/特集-森の妖精 きのこと/活動報告-植物学講座「植物の色素を調べる」、講演会「ハーブを探る」(小西達夫先生)、他/話題の植物-パパイア、ラッカセイ/研究紹介-果皮の構造(主任研究員 大宮 徹)/植物学解説シリーズ 植物バイオテクノロジー(6) 植物の遺伝子組み換え/これからが見ごろの園内の植物-ハマギク、テンニンソウ、セイナンシャリントウ/イベント案内

●2002年1・2・3月号(通巻22号)

表紙-トウツバキの園芸品種/特集-第8回TOYAMA植物フォーラム 地方植物誌の課題/活動報告-日中共同研究開始記念シンポジウム「野生植物の保全と植物園の役割」/話題の植物-ヤブツバキの園芸品種「白秋茶」、フキタンポポ/研究紹介-ヤマボウシの実生形態の比較-氷見と箱根の種子からの-(技師 高橋一臣)/植物学解説シリーズ 植物バイオテクノロジー(7) 遺伝子組み換え植物/これからが見ごろの植物-トウツバキの園芸品種「麻葉銀紅」、「獅子頭」、「松子鱗」/イベント案内

(2) 「富山県中央植物園研究報告」第7号の発行(調査研究事業に掲載)

(3) 「事業概要」第3号(平成12年度)の発行(A4判・28頁、平成13年3月28日)

(4) 「富山県中央植物園散策ガイド ドリアスマップ」の発行(A3判6ツ折りリーフレット)

### 3. 平成13年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
平成13. 4	農耕と園芸	「新花き探索」ベンガルヤハズカズラ	神戸 敏成
13. 4	花と緑の銀行だより	花木の植栽と管理 1. 花木を選ぶ目安	桐林 秀雄
13. 6	農耕と園芸	「新花き探索」タカネジンチョウゲ	神戸 敏成
13. 5. 24 ～ 9. 6	北日本新聞夕刊 (毎週連載)	中国雲南省リポート「植物の宝庫」を訪ねて (13回連載)	神戸 敏成
13. 6	花と緑の銀行だより	花木の植栽と管理 2. 苗木選びと植付時期	桐林 秀雄
13. 8	農耕と園芸	「新花き探索」ソウトウカ	中田 政司
13. 8	花と緑の銀行だより	花木の植栽と管理 3. 剪定と開花	桐林 秀雄
13. 10	農耕と園芸	「新花き探索」ウンナンソシンカ	神戸 敏成
13. 12	農耕と園芸	「新花き探索」ソラムム・キトエンセ	神戸 敏成
14. 1	花と緑の銀行だより	花木の植栽と管理 4. 施肥	桐林 秀雄
14. 2	農耕と園芸	「新花き探索」ヤブツバキ「白秧茶」	神戸 敏成

### 4. 平成13年度取材対応

- (1) 新聞 67件
- (2) テレビ 34件 (番組出演 20回)
- (3) ラジオ 12件
- (4) 雑誌等 10件

### 5. 平成13年度リファレンス(質問対応)状況

	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
総数	140	243	334	493	624	715
内訳1 方法別						
(1) 口頭	65	84	118	179	258	268
(2) 電話	73	153	206	301	341	410
(3) 文書	2	6	9	13	25	37
内訳2 内容別						
(1) 同定(キノコ)	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181(110)	275(184)	330(196)
(2) 園芸相談	25	73	103	159	178	208
(3) その他	42	91	102	153	171	177
内訳3 業種別						
(1) 一般	127	202	266	420	528	606
(2) マスコミ	11	35	59	55	67	72
(3) 植物関係者	2	6	9	18	29	37

### 6. 平成13年度新聞記事(定期掲載を除く)

年月	内容	件数
平成13. 4	婦中・魅力ある街づくり、入園者50万人超え、スキャノグラフィー展、他	16
5	キノコ研究会発足、ウォーキングスティック、野生ラン展、他	23
6	在宅福祉センター250人遠足、トリップとやまの研究室「帰化植物」、他	14
7	企画展「ミントとラベンダー」、ゴーヤロードお目見え、他	21
8	夜の熱帯温室観察、写真展「スイスアルプスの高山植物」、他	20
9	ウンナンソシンカ開花、トリップとやまの研究室「キノコ分布調査」、他	8
10	企画展「森の妖精きのこ」、「植物画展」、他	9
11	遼寧省代表団訪問、共同研究魯さん着任、TOYAMA植物フォーラム、他	13
12	白秧茶開花、共同研究記念シンポ、渡り鳥ノゴマ温室で越冬、他	14
平成14. 1	報春花見頃、スケッチとやま「熱帯温室は別世界」、他	7
2	ムユウジュ見頃、魯さん10日離富、話題の「トラノオ」登場、他	10
3	研究発表会、中国と共同研究開始1年、夜桜観賞前倒し、他	14

## IV 資料収集事業

### 1. 標本資料現況(平成13年度末現在)

	平成3～12年度	平成13年度	合計(点数)
購入標本	3,000	0	3,000
収集標本	19,879	神戸採集中国雲南省産標本 190 大原他採集県内産標本 1,200 大原他採集大蓮華山地域イネ科カヤツリグサ科等標本 801	22,070
寄贈標本 (敬称略)	7,018	神戸淳子(オオスズメノカタビラ他) 200 高木末吉(コショウハッカ他) 18 山本清美(コボタンヅル他) 178 塩谷佳和(ヤエオグルマ) 1 村田安雄(ボタンクサギ) 1 猪又章裕(シロバナハマヒルガオ他) 63 堀 祐一(スベリヒユ他) 233	7,712
合 計	29,897	2,885	32,882

### 2. 文献資料現況(平成13年度末現在)

#### (1) 単行本

		平成3～12年度	平成13年度	合計(冊数)
購入	洋 書	914	10	924
	中国書	312	19	331
	和 書	790	21	811
交換 寄贈	洋 書	100	0	100
	中国書	33	4	37
	和 書	1,507	27	1,534
合 計		3,650	81	3,731

#### (2) 雑誌

		平成3～12年度	平成13年度	合計(冊数)
購入	洋 書	2,407	285	2,692
	中国書	595	39	635
	和 書	2,105	177	2,284
交換 寄贈	洋 書	487	99	586
	中国書	80	12	92
	和 書	741	105	846
合 計		6,415	367	7,052

# V 調査研究事業

## 1. 研究体制

氏名	職	担当分野・専門分野
黒川 道	園長	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員(企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	技師	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	技師	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	技師	植物分類学、酵素多型、タケ科
大原 隆明	技師	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	技師	植物分類学、トカラ列島フロラ、アオキ、溪流沿い植物

## 2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

## 3. 昆明植物研究所との共同研究

平成12年10月13日調印「日本国富山県中央植物園と中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所との共同研究に関する合意書」に基づく。

研究テーマ: 雲南省の貴重植物(特に稀産・絶滅危惧植物)に関する保全生物学的調査・研究

研究期間: 1期を2年とする5期10年

研究対象: 第1期 ベゴニア属、 第2期 マメ科、  
第3期 モクレン科、 第4期 ツバキ科、  
第5期 サクラソウ科

研究方法: 1年に1名、3ヶ月以内で職員を相互派遣し、共同で研究を遂行する。

研究経費: 渡航費は派遣側負担、滞在費は受入れ側負担、調査・研究費は富山県負担とする。

平成13年度富山県派遣職員: 神戸敏成 主任研究員(平成13年5月15日～8月9日)

平成13年度昆明植物研究所派遣職員: 魯元学 助理研究員(平成13年11月14日～平成14年2月9日)

## 4. 富山県中央植物園研究報告第7号の発行(平成14年3月28日)

- ・大宮 徹: 地涌金蓮 (*Musella lasiocarpa*) の葉と苞葉の葉序について (1-7)
- ・高橋一臣: 立山室堂平産ササ属植物の葉の表皮微細構造 (9-15)
- ・Toshiaki Shiuchi: Pollen Morphology of Three Varieties of *Aucuba japonica*. (日本産アオキ類の花粉) (17-21)
- ・Tadashi Kanemoto: Chromosome Number of *Lecanthus peduncularis* (Urticaceae) of Japan. (チョクザキミズの染色体数) (23-26)
- ・Tadashi Kanemoto: Chromosome Number of *Elatostema obtusum* var. *triobulatum* (Urticaceae). (ヒメミズの染色体数) (27-30)
- ・中田政司・太田道人: ユキバタツバキの三倍体一井口村指定天然記念物「丸山の大ユキバタツバキ」の染色体数調査結果とフィールドワークから (31-35)
- ・山下寿之: 富山県中央植物園内におけるアカマツ植栽木からの稚樹の増殖 (37-43)
- ・神戸敏成・魯元学・田代科・管開雲: 中国雲南省での植物調査記録—2001年調査行程と採集標本リスト (45-57)
- ・大原隆明・高木末吉: 富山県フロラ資料(6) (59-69)

5. 平成13年度研究発表「植物園を支える研究活動(6)」(発表順) 平成14年2月25日

- ・大原隆明：富山県で新たに生育が確認された植物(5)
- ・橋屋 誠：富山県で記録されたきのこ(6)
- ・山下寿之：富山県中央植物園におけるアカマツ植栽木からの稚樹の増殖
- ・兼本 正：ヒメミズの色数
- ・中田政司：ツノゴマとキバナノツノゴマとの交雑実験
- ・志内利明：日本産アオキ類の花粉
- ・大宮 徹：チヨウキンレンの葉と花苞の葉序
- ・高橋一臣：ササ属植物の葉の表皮構造
- ・神戸敏成：雲南の熱帯植物と文化

6. 著書・論文・学会発表等(平成13年度。富山県中央植物園研究報告第7号掲載分を除く)

黒川 遼

- ・Parmelioid lichen genera and species in Taiwan. Mycotaxon 77: 225-284. (共著)
- ・Taxonomic notes on *Parmelia reparata* (Parmeliaceae, Lichens) and the related species. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, ser. B, 27: 1-10. (共著).
- ・The genus *Rimelia* (Lichens) from the Hawaii Islands. J. Jpn. Bot. 76: 321-328 (共著)
- ・研究施設としての植物園の役割. 造園学会関西支部大会セミナー(2001)

中田政司

- ・キクとの雑種を含むワカサハマギク個体群の14年後の追跡調査. 保全生態学研究 6: 21-27.
- ・兵庫県の日本海側に見られるノジギクの逸出個体群. 兵庫県植物誌研究会会報 47: 1-2.
- ・富山県の絶滅のおそれのある野生生物. 富山県. (分担執筆)

山下寿之

- ・ハナガガシ林とイチイガシ林の種組成と立地環境. 日本生態学会第49回大会(2001). (共同発表)
- ・富山県の絶滅のおそれのある野生生物. 富山県. (分担執筆)

神戸敏成

- ・シラン(*Bletilla striata*)未熟胚のガラス化法による超低温保存. 日本育種学会第101回大会(2002). (共同発表)

吉田めぐみ

- ・立山室堂平の維管束植物相-立山室堂平周辺植物調査報告書- 1999-2000. 富山県文化振興財団. (共著)

橋屋 誠

- ・アマチュア研究者の取り組み. 日本菌学会第45回大会(2001). (共同発表)

高橋一臣

- ・立山室堂平の維管束植物相-立山室堂平周辺植物調査報告書- 1999-2000. 富山県文化振興財団. (共著)

大原隆明

- ・富山県の絶滅のおそれのある野生生物. 富山県. (分担執筆)

志内利明

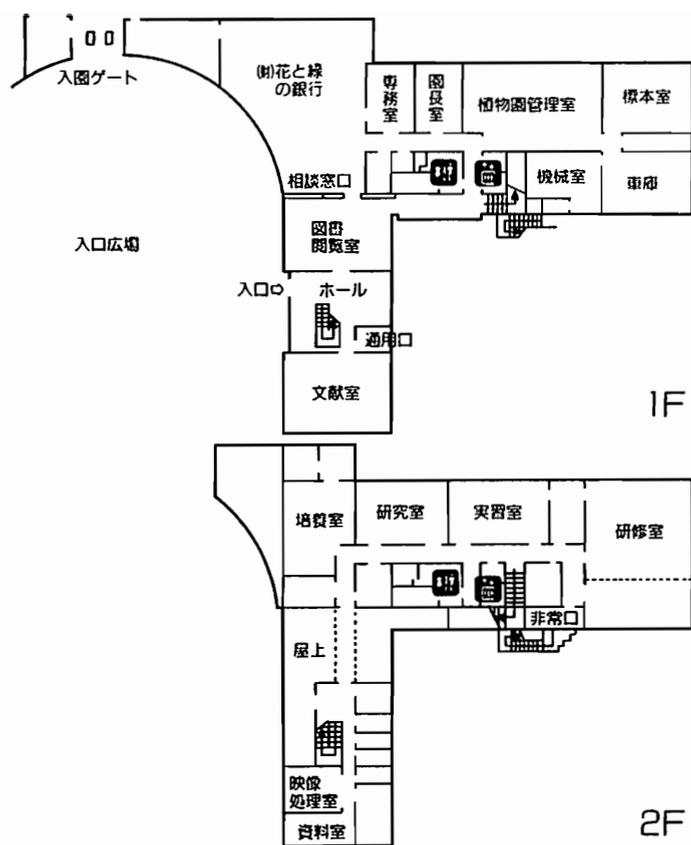
- ・カンアオイの葉に含まれるカルコン配糖体. (2001). (共同発表)

## VI 参考資料

### 1. 施設概要(着工順)

施設	着工～完成	面積(m <sup>2</sup> )	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	2,090	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、標本室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	303	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室(5棟)	第1期 4.8～5.1 第2期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	380台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ393	5棟
サンライトホール	5.8～6.8	888	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室(5棟)	第1期 5.8～7.1 第2期 6.7～7.6 第3期 7.3～8.3 第4期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林 植物室 909 熱帯果樹室 645 高山植物室 341 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	





管理研修棟平面図

### 3. 整備事業費

(平成元年～平成7年度)

単位: 百万円

区分	平成元年度	2	3	4	5	6	7	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828
備品			2	92	13		74	181
用地取得		977	959	32			74	2,039
雲南植物					10	3	10	23
石林の石						11	105	116
計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242

#### 4. 利用統計

##### (1) 平成13年度月別入園者数(有料)

区分 (月)	個人		団体		友の会	地職組	特別観覧*				合計	
	大人	小人	大人	小人			大人	小人	大人 団体	小人 団体	大人	小人
4	5,219	418	234	10	125	0	899	41	274	0	6,751	469
5	4,829	366	1,033	4	133	58	-	-	-	-	6,053	370
6	1,839	73	1,583	8	67	27	-	-	-	-	3,516	81
7	1,338	100	525	20	114	24	-	-	-	-	2,001	120
8	1,628	297	293	294	62	11	465	85	0	0	2,459	676
9	1,687	116	296	36	125	26	-	-	-	-	2,134	152
10	1,670	104	825	20	99	25	-	-	-	-	2,619	124
11	1,273	56	553	1	104	25	-	-	-	-	1,955	57
12	502	26	23	0	32	9	-	-	-	-	566	26
1	1,076	49	0	0	80	18	-	-	-	-	1,174	49
2	2,086	66	170	1	139	16	-	-	-	-	2,411	67
3	2,519	169	94	0	141	72	-	-	-	-	2,362	169
合計	25,666	1,840	5,629	394	1,221	311	1,364	126	274	0	34,465	2,360

\*夜桜観賞(平成13.4.14・15)、夜の熱帯植物を見る(平成13.8.12・13)

##### (2) 平成13年度月別入園者数(無料)

区分 (月)	減免			乳幼児	その他	無料合計	
	一般・ 大学・ 高校	小学 生	引率			大人	小人
4	583	1,561	417	811	49	1,049	2,372
5	410	657	458	620	165	1,033	1,277
6	293	466	288	290	29	610	756
7	44	100	90	227	33	167	327
8	22	36	40	355	50	112	391
9	167	44	208	458	35	410	502
10	138	136	199	1,000	24	361	1,136
11	208	26	96	269	77	381	295
12	8	7	24	191	56	88	198
1	18	3	26	200	24	68	203
2	70	20	66	325	107	243	345
3	77	45	87	376	17	181	421
合計	2,038	3,801	1,999	5,122	666	4,703	8,223

##### (3) 平成13年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	7,800	2,841	10,641
5	7,086	1,647	8,733
6	4,126	837	4,963
7	2,168	447	2,615
8	2,571	1,067	3,638
9	2,544	654	3,198
10	2,980	1,260	4,240
11	2,336	352	2,688
12	654	224	878
1	1,242	252	1,494
2	2,654	412	3,066
3	3,007	590	3,597
合計	39,168	10,583	49,751

## (4)平成13年度入園料減免対象団体利用状況

団体種別	のべ利用団体数	のべ利用者数 (有料入園者を含む)
保育園・保育所	37	3,618
幼稚園	11	889
小学校	29	2,998
中学校	4	187
高等学校	7	480
盲・聾・養護学校	3	102
障害者援護施設・手帳所持	28	873
特別養護老人ホーム・老人保健施設	17	569
その他	6	350
合計	142	10,066

## (5) 全面開園(平成8年)後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
累計	248,866	20,350	14,003	44,221	262,869	64,571	327,440

## (6) 平成13年度研修室等利用団体数・人数

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	合計
	第1	第2	第1 + 第2		
8	31団体 (1,064人)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7(319)	5 (76)	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12(630)	5 (114)	48 (1,507)

## 5. 例規(平成15年2月28日現在)

### ●富山県植物公園条例(抜粋)

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号  
改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号  
平成9年3月26日 富山県条例第 3号

#### (目的)

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### (県の責務)

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

#### (設置)

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設(以下「植物展示施設」という)と連携を図るため、富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)を設置する。

#### (位置)

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

#### (事業)

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。
- (2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

#### (入園の拒否及び制限)

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

- (1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

#### (遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。
- (4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

#### (専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

#### (使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生及び高等学校の生徒	1人1回につき	600円	480円
中学校の生徒及び小学校の児童		300円	240円

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

## 備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

## ●富山県植物公園条例施行規則(抜粋)

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例(平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日(次条において「専用使用日」という。)の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書(様式第1号)を知事に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(休園日)

第4条 富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

- (1) 木曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(開園時間等)

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午前9時から午後4時30分まで)とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午後4時)までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

## 6. 愛称とシンボルマーク

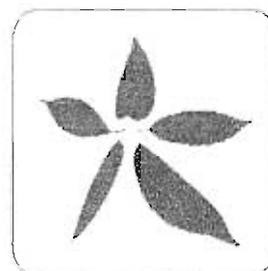
平成10年2月、公募によって決定。

愛称=ドリラス

「ドリラス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名(Dryas)でもある。

シンボルマーク

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



**富山県中央植物園事業概要 第4号 (平成13年度版)**

---

平成15年2月20日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

印刷：大東印刷株式会社

---